

ねんりんピック開催!

囲碁交流大会 ふくろいチーム優勝

10月28日から31日までの4日間、県内18市町を会場に23種目のスポーツ・文化交流大会が開催されました。

10月28日、エコパでは総合開会式が行われ、全国から約4万人の皆さんが集まり、大会の開幕を祝いました。

市内の園児や小学生、高校生も総合開会式に出演し、ダンスやドリル演奏などで式典を盛り上げました。

10月29日・30日、月見の里学遊館

では、囲碁交流大会が行われ、63チーム・189人が集い、熱戦を展開。見事、「ふくろいチーム」が優勝し、会場から健闘をたたえる拍手がもくもられました。このほか、プロ棋士による指導碁、大盤対局なども行われました。

また、月見の里公園では、おもてなし広場として地場産品の販売や多彩なステージイベントが行われ、多くの皆さんが楽しみました。



世界にひとつだけの卒園記念品

10月19日、若草幼稚園の年長園児62人が保護者と協力して卒園記念の焼き物づくりを行いました。

講師の鬼瓦職人の名倉孝さん（堀越一丁目）から、かわら用の粘土の特性などの説明を受けた後、制作開始

園児たちは、手形を押しなお皿や動物、虫の置物など、思い思いの作品を熱心に丁寧に作りました。

この日出来上がった作品は、12月中旬に名倉さんの窯で焼き、来年3月の卒園式で園児たちに手渡されます。





囲碁交流大会で優勝したふくろいチーム
(左から松森さん、日比野さん、峰松さん)



将来に触れた職業体験

市内の中学校の生徒たちが、各校区の公共施設や事業所などで仕事を体験する職場体験学習が行われています。

10月17日、浅羽中学校の1年生196人が、幼稚園や図書館、農家などを訪ね、それぞれの業務を体験。

生徒たちは、幼稚園で絵本の読み聞かせを行ったり、農家で花の芽を摘んだり、初めての体験に戸惑いながらも、楽しんで取り組みました。

